

令和8年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・最終)

豊浜中学校区 校番34 学校名 呉市立豊小学校

a 学校教育目標	貴 自ら考え主体的に学び表現する 児童生徒の育成 ～ふるさとを愛し、仲間と共に未来を拓く～	b 経営理念 ミッション・ビジョン	<ミッション>(学校の使命) 社会で人生を豊かに生きるための力を付け、未来を切り拓くことができる児童の育成 <ビジョン>(将来の学校像) 夢いっぱい 感動いっぱい 笑顔いっぱい の わくわく感あふれる学校
----------	---	----------------------	---

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	本中学校区では、昨年度、特別支援教育の視点を取り入れた学習指導の工夫を行うことで、児童生徒の困り感をなくし、全ての児童生徒が「分かる・できる」ための授業づくりを進めてきた。今年度も引き続き、一人一人が主体的に深く学び、自分の思いを表現できるような小規模校、複式学級ならではの授業づくりを進めていく。 学力向上・授業改善に加え、「防災教育の深化」「自己肯定感の向上」「郷土を愛する心の育成」「いじめ防止等の対策」「働き方改革や業務改善の一層の推進」を今年度の重点とする。
------------------------------	---

育成を目指す資質・能力	貴 「生きてはたらく知識・技能」 「課題を解決し、発信する力」 「主体的に学び、協働する力」
-------------	---

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・(2)・3 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
*** 確かな学力	貴 「主体的・対話的に深く学び、思いを分かりやすく表現できる」児童生徒を育成する。	基礎・基本の学力を意欲的に身に付けようとする児童の育成	貴 家庭学習時間(学年10+10)分の徹底を図る。 貴 予習・復習を行うよう指導する。	国語科の単元末テストの正答率 (現状値82%)	80						
			貴 キュビナを活用した個別最適な学び ICT 授業の中で必ず学習内容等確かめる場面を設ける。 聴く たしかめる	算数科の単元末テストの正答率 (現状値79%)	80						
		主体的に学び、協働して学びを深めることができる児童の育成	考えを再構築する発問の工夫をする。 ①あっているか？(理由は？) ②仲間に分けられるか？一番よいものはどれか？(理由は？)等 かかわる ICT 全ての子どもが「分かる・できる」ための工夫をする	貴 児童評価 (授業がよく分かったと答える児童の割合) (現状値89%)	90						
		自分の思いを表現することができる児童の育成	貴 授業では発表を促し、授業の終わりには必ず振り返りを言わせたり、書いたりさせる。 ふりかえる 貴 1分間スピーチを行う。(好きなこと、自分のよいところ、将来の夢 等)	貴 児童評価 (授業では、自らの考えや理由を相手に分かりやすく伝えるようにしていると答える児童の割合) (現状値86%)	85						
** 豊かな心・健やかな体	貴 粘り強く挑戦し、夢や誇りをもち、郷土を愛する心を育てる。	郷土を愛する心を育てる。	地域に関わる探究的な学習を実施する。 ICT	児童評価 (自分の住んでいる地域(呉)のことが好きと答える児童の割合) (現状値81%)	90						
		自己肯定感を高める。	認めて伸ばす言葉かけをする。 貴 行事等の目標を明確にし、達成することによって自己肯定感を高める。(小中合同行事を含む)	貴 児童評価 (自分には、よいところがあると答える児童の割合) (現状値77%) 振興	85						
		自分の命は自分で守ろうとする児童の育成	貴 防災教室・避難訓練等で各種災害を自分ごととして捉えることができるよう指導する。	貴 児童評価 (災害時に避難する場所や避難の仕方について理解している児童の割合) (現状値100%) 振興	100						
		体力を身に付けようとする児童の育成	体育等に目標をもって取り組ませる。	児童評価 (体育等に目標をもって取り組むことができたと答える児童の割合) (現状値89%)	95						
* 信頼される学校	貴 地域・保護者連携、業務改善	保護者の信頼を得る。	学校の取組や児童のがんばり等の積極的な発信	保護者評価 (児童が学校へ行くのを楽しみにしていると回答する保護者の割合) (現状値100%)	95						
		貴 いじめや暴力行為等を許さない学校環境づくり	組織的な生徒指導体制と教育相談体制の確立	全ての児童を対象にした個別面談の実施(月1回のふれあい相談日)	100						
		児童と向き合う時間の確保	貴 ICTの活用による業務の効率化 ICT	貴 児童と向き合う時間が確保されていると答える教職員 (現状値89%)	100						
		「働きがい」と「働きやすさ」の両立	定時退校日の徹底 会議や研修、学校行事の見直しや精選	「心理的安全性が確保されている」と感じている教職員 「日々の業務の中で充実感を得られている」と感じている教職員	100 100						

【k:評価】

A:100≤(目標達成) B:80≤(ほぼ達成)<100

C:60≤(もう少し)<80 D:(できていない)<60